

《研究課題名》

急性内斜視の治療成績

《研究対象者》

2011 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までに滋賀医科大学医学部附属病院眼科において急性内斜視と診断され手術を受けられた方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保有している情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

《研究課題名》 急性内斜視の治療成績

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2024 年 3 月 31 日

《研究責任者》 滋賀医科大学 眼科 室谷沙希

（２）研究の意義、目的について

《意義》

デジタルデバイスの過剰使用により急性内斜視の症例が増加しています。急性内斜視の治療効果を明らかにすることで、今後の急性内斜視治療の発展や、治療選択のための根拠資料となることが期待されます。

《目的》

急性内斜視の患者さんの等価球面度数、融像幅、斜視角、立体視の急性内斜視手術術前・術後の変化量、術式、デジタルデバイスの使用履歴を評価することです。

（３）研究の方法について

《研究の内容》

本研究は患者さんの診療録から情報を利用させていただき、後ろ向きに解析を行う研究です。

《利用する情報の項目》

下記の項目を診療録から収集し利用させていただきます。

背景情報：年齢、性別

視機能検査：等価球面度数、融像幅、術前後の斜視角、立体視、術式、デジタルデバイスの使用履歴

《情報の管理について責任を有する者》

滋賀医科大学医学部附属病院眼科 室谷沙希、岩佐真紀

（４）個人情報の取扱いについて

本研究を実施する際には、個人を特定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして、ご提供いただいた情報が誰のものか分からない状態にして使用します。ただし、必要な場合に個人を特定できるように、対象となる方とその方の情報を結び付けることができる対応表を作成いたしますが、この対応表は施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

（５）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

（６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（７）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（８）にご連絡ください。

（８）本研究に関する問い合わせ先

担 当 者： 滋賀医科大学 眼科 室谷沙希
住 所： 520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
電 話 番 号： 077-548-2276
メールアドレス： hqophth@belle.shiga-med.ac.jp